

# 国道152号秋葉トンネル災害対策委員会

## 第3回委員会

1. 日時：令和3年4月27日（火） 13:30～15:30

2. 場所：浜松市役所本庁舎8F 全員協議会室

3. 出席委員：

○八嶋 厚 岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授

上野 将司 岐阜大学 工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 客員教授

太田 裕之 岐阜大学 工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 客員教授

野村 貢 公益社団法人日本技術士会 防災支援委員会 委員長

野末 昇 浜松市土木部 道路保全課 課長（令和3年4月1日人事異動により交代）

鈴木 浩治 浜松市土木部 天竜土木整備事務所 事務所長（同上）

※敬称略 ○は委員長

4. 議事：

- （1）第2回委員会議事録の確認
- （2）第2回委員会後の対応状況
- （3）地すべり対策方針について
- （4）トンネル本体工復旧計画について
- （5）その他

5. 議事概要：

別添1のとおり

国道152号秋葉トンネル災害対策委員会（第3回）

【委員会概要】

1. 第2回委員会後の対応状況

・第3回委員会では、現地へ設置した計測機器から得られたデータを基に、地すべりの規模を見直すことについて報告し了承された。

2. 地すべり対策方針について

・地すべり対策は、抑制工と抑止工を組み合わせる方向性を承認。  
・集水井工と横ボーリング工により斜面の不安定化の原因となる地下水を排除したうえで、アンカー工等と合わせて地すべりを止める。

3. トンネル本体工の復旧方法について

・ひび割れ等の変状が発生したトンネルの復旧は、工事期間の短縮やコストを考慮し、補強材による内巻補強工を採用する。

4. 県道大輪天竜線の復旧方法について

・県道大輪天竜線については、地下水による影響を軽減するため、透水性に優れた大型ふとんカゴ工を採用する。

# 国道152号秋葉トンネル災害対策委員会【第3回】概要

別添2

※対策及び復旧工法の説明図はイメージ図であり、今後詳細設計を進める中で仕様や施工位置等の変更が生じる可能性があります。

## ○地すべり対策 (イメージ図)



地すべり対策は**抑制工**と**抑止工**を組み合わせ  
て実施する方向性を承認

**集水井工+横ボーリング工**により地下水を排除した  
うえで、**アンカー工等**と合わせて地すべりを止める

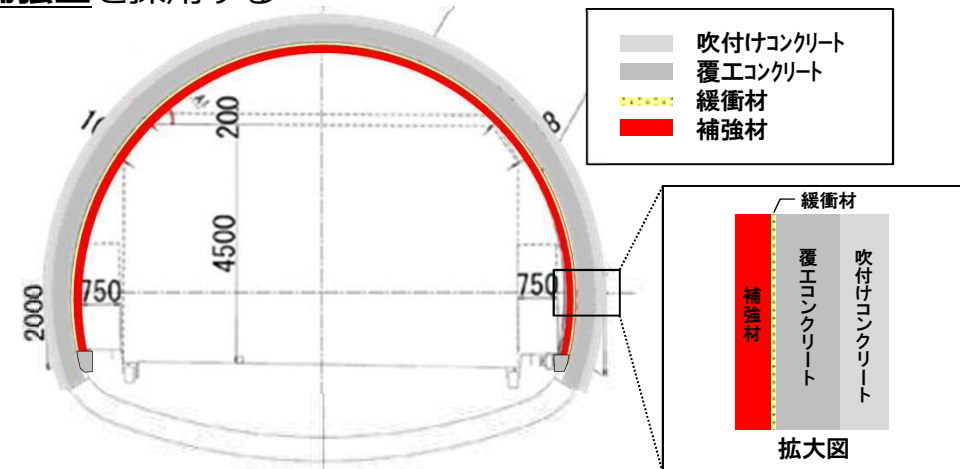


地すべりの滑動を抑え斜面を安定化

※対策効果が確認されるまで地すべりの観測は継続

## ○トンネル本体内工復旧工法 (イメージ図)

●変状箇所のひび割れ進行及びはく落を防ぐため、建築限界を確保しつつ、工事期間の短縮やコストを考慮し、**内巻補強工**を採用する



## ○県道大輪天竜線復旧工法 (イメージ図)

●地下水の影響を軽減するため、透水性に優れた**大型ふとんかご工**を採用する

